

第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成23年10月6日(木) 6校時
児 童 滝沢村立柳沢小学校 第6学年
(男子3名 女子5名 計8名)
指導者 田 浦 将

1 単元名 読み取ったこと、感じたことを表現しよう

2 学習材名 『鳥獣戯画』を読む
この絵、わたしはこう見る(光村 第6学年教科書教材)

3 単元について

(1) 児童観

児童たちは、「ようこそ、わたしたちの町へ」において、書く事柄の収集と整理、引用文の活用、効果的な表現を学んでいる。積極的に取材し、発信しようとする意欲が見られた。全体的に、自分の考えや感想を効果的に表す力がまだ低く、多様な語彙を活用する力を高める必要がある。また、引用文に頼ってしまい、自分の考えを明確にすることができないことが見受けられた。取材した事実や引用と、自分の考えとを関連づけながら、自分の考えを明確に説明する力を身につけさせたい。

(2) 指導観

ア. 単元の構成・指導のねらい

本単元は、6年生における「書く」ことの領域に位置づき、収集・分析した事実と個人的な意味づけや感想を表現する内容である。まず、教科書に示された2つの絵画作品を見、より印象的な作品を選ぶ。その上で、何がどのようにかかっているか分析し、さらにそこから自分がどのような感想や考えを持ったかを文章化する。目標は、次の2点である。一つは、絵から感じたことの中から、全体を見通して事柄を整理し、書くことを決めることである。もう一つは、事実と感想、意見などを区別するとともに、友だちに「なるほど、そういう風に見たらおもしろい」と思ってもらえる表現の工夫をすることである。

本単元に先立ち、『鳥獣戯画』を読むを学習する。本教材は、アニメ映画監督が書いた、「鳥獣戯画」という中世の絵画に関する解説文である。そこでは、絵の生き生きしていることに着目したことがわかるような書き出しがなされている。また、読者への親しみを込めた呼びかけや、古典絵画と現代アニメの共通点を取り上げるなど、絵の魅力を伝えるための工夫が随所になされている。ここで読み取った工夫は、本単元の活動を行う際の参考となるはずである。

書くことを通じ、自分を見つめることが児童の内面で行われ、その活動が単元「自分を見つめ直して」での随筆を書く学習活動へとつながってゆくものであり、また、中学での「鑑賞文を書く」などへ発展することが期待される。

イ. 指導上の工夫

これまでの「書く」領域での活動を振り返りながら、自分の考えを明確に示すためのよりよい表現について考えさせたい。そのためには、対象となる事物を見る視点、文章化する際の視点、推敲する際の視点を『鳥獣戯画』を読むを参考にしながら明確にし、それぞれ改善すべき事柄を児童自らが見つけ出せるよう支援していきたい。対象となる事物は絵画であり、教科書の例示にあるような五感と想像力を活用した多様なものの見方をさせていきたい。また、この単元においては、自分なりの感じ方やものの見方を表現することが中心となることから、推測や判断を分かりやすく伝えるとともに、その根拠となる事実がきちんと書かれていることが必要となる。そのための語句の使い分けに着目させたい。その上で、目的や意図に応じた全体構成を考えさせたい。

(3) 研究にかかわって

ア. 指導目標（育成を目指す言語能力）

- ◎ 見た絵の様子を的確に表現し、それを根拠としながら自分の感じたこと、考えたことを適切な語彙を用いて表現することができる。 【書くこと ウ】
- 絵から感じたことの中から書くことを決め、全体を見通しながら段落を分け、適切な接続詞でつなぐことができる。 【書くこと ア】

イ. 主たる言語活動

教科書の2つの絵の中から、より印象深い絵を選択し、その絵から受ける印象および自分の考えを多くの人に伝えるための文章を書くこと。 【書くこと ウ】

ウ. 「伝え合う力」を育成するための手だて

ペアおよび学級での意見交流を行い、お互いの気づきや表現の多様性と効果を認め合う。また、助言し合う。特に、自分と友人との共通点・相違点に着目しながら、優れた着想や表現を指摘することを身につけさせたい。絵のどの部分から、どんな感想や考えを持ったのかが明確に分かる表現をするとともに、それらを聞き取る力も育てていきたい。そのためには、感想・考えを疑問・推量・断定に分けて考えるとともに、それぞれ適切な語句は何かを考えさせたい。また、絵全体からの印象や自分の捉え方を明確にするためには、書き出しで何に注目したのか、あるいはどんな印象を伝えようとしているのかを明らかにすることが効果的であることに気づかせたい。

4 単元・教材に関する主たる評価規準

- 絵画に興味を持ち、自分なりに絵から読み取ったことを伝えようとしている。【関心意欲態度】
- 表現の効果を考えて助言し合い、工夫して書いている。 【書く】

5 学習指導計画（全9時間）

第1次 学習課題を立て、学習の見通しをもつ。(1)

- ・『鳥獣戯画』を見ながら、意見交流をする。学習課題を立て、学習の見通しをもつ。 …… 1

第2次 本文を読み、筆者の感じ方や評価に対して自分の考えをもつ。(3)

- ・「表現に着目して読もう」に示された観点に沿って、本文を読み、絵や絵巻物に対する筆者の考えに対し、自分の考えや感想をまとめる。 …… 2
- ・表現や構成の工夫を見つけ、まとめる。 …… 1

第3次 身の回りから、絵画について書かれた文章を探して読み、筆者の評価が書かれているところを見つける。(1)

- ・自分のものの見方が広がったと思うことについて話し合う。 …… 1

第4次 絵から感じたことの中から「問い」を立て、書くことを決める。(1)

- ・絵を見ながら、観点例を参考にして自問自答式でイメージをふくらませる。 …… 1

第5次 記述例を参考にして表現の効果や工夫を考えて文章を書くことができる。(2)

- ・伝えたいことをまとめ、下書きを書く。 …… 1
- ・ペアで読みあい、めあてに沿って推敲する。 …… 1 (本時)

第6次 書いたものを読みあい、ものの見方や表現方法を広げる。(1)

- 発表会を行い、見方や表現方法について意見交流する。 …… 1

6 本時の指導

(1) 目標

- ・表現の効果を考えながら、書き出しの工夫と、判断の強さを表す語句の使い分けを適切に行う。

(2) 本時の展開

段階	主な学習活動	○留意事項【評価の観点】《方法》
導入 (5分)	<p>1 前時までの学習をふり返り、学習計画の位置づけを確認する。</p> <p>○書き出し ○考えとその根拠</p> <p>2 本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分の考えを伝えるための表現を工夫するには、どんな事に気をつければよいかを考えよう。</p> </div>	<p>○学習計画をもとに、前時までのふり返りをし、本時の見通しをもつ。</p>
展開 (35分)	<p>3 提示されたモデル文を、全員で推敲する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の意図や立場が分かる書き出しだろうか。 ・筆者の観察や感想、考えと、使われている表現が一致しているだろうか。 ・感想や意見が、根拠に基づくものだろうか。 <p>4 自分の下書きについて、工夫したいところを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル文のようなおかしな所はないか。 <p>5 ペアになって、工夫したい点を話し合い、助言し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの下書きを読みあい、工夫したい点（書き出し、考えの記述方法）を考え、なぜ、どのように改めたいかをペア同士で検討する。また、助言し合う。 ・「思った」よりもほかにふさわしい表現はないか。 ・根拠ははっきりしているか。 ・方向性が決まったペアは、書き始める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どんな見方をしているのかを明らかにする書き出しや、考えの強さを文末表現ではっきり示すことで、筆者の考えはよりはっきりと伝わる。</p> </div> <p>6 発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推敲した文章を大型テレビで提示し、意見交流する。 ・友だちの良さを認め合い、自分のものに生かしたい表現を見つける。 ・不明瞭な所はないか、よりよい表現はないかを考える。 	<p>○「鳥獣戯画」での学習を振り返らせ、モデル文のどこを直せばよいかを考えさせる。</p> <p>【書く】書き出し、文末表現、接続詞に注目して考え、筆者の感想や意見に適切な表現を工夫している。また、ペア間でねらいを明らかにして工夫しようとしている。 《発言、話し合い、書いた文章》</p> <p>○必要に応じてチェックシートを使わせる。</p> <p>○2名ずつの4グループに分かれる。</p> <p>○文章全体を書き直すのではなく、加除修正した文のみを記入するようにさせる。</p> <p>○判断の強さや、感じたことを表すためによりふさわしい文末表現は何かを話し合う。根拠は明らかになっているかを確認し合う。</p> <p>○共通点、相違点に注意しながら友だちの発表を聞くようにさせる。</p> <p>○書き出し、文末表現、接続詞に着目しながら助言しあうようにさせる。</p>
終末 (5分)	<p>7 学習のふり返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下書きと比較し、自分の考えがより明瞭に伝わるようになったかをふり返る。 <p>8 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○学習による変化に着目させる。</p>

(3) 評価規準

観点	A：十分満足できる (例)	B：概ね満足できる	Cの児童への手立て
書くこと	読み取ったことと考えたことを適切な段落構成により書き分けている。友人への助言を行うことができる。	絵から分かる事実と感じたこと、考えたことをはっきりと書き分けている。	絵画作品の様子について、およびそこから感じたことをそれぞれ一文ずつで書かせる。

(4) 板書計画

読み取ったこと、感じたことを表現しよう
この絵、わたしはこう見る

自分の考えを伝えるための表現を工夫するには、どんな事気をつければよいかを考えよう。

例文について

- 書き出し↓自分の意見に関係する事を書く。
- 絵の内容と意見がちがう↓根拠をはっきりさせる。
- 文末表現↓強さのレベルをはっきりさせる。

ペアで意見交流しよう
進め方

- ①お互いの下書きを読む。
- ②どんな工夫をしたか、ペアで確認する。
 - ・書き出し↓どんな工夫
 - ・記述方法↓事実と考え(強さのレベル)
- ③ねらいと工夫を話し合い、決定したら作文を書く。

考えをはっきり伝えるためには

- ・書き出しで、どんな見方しているかを示す。
- ・自分の意見とその根拠をきちんと区別する。
- ・段落の役割を考え、接続詞を決める。